

本論文は

# 世界経済評論 2022年3/4月号

(2022年3月発行)

掲載の記事です



## 世界経済評論 定期購読のご案内

年間購読料

1,320円×6冊=7,920円

6,600円

税込

17%

送料無料

OFF

富士山マガジンサービス限定特典

※通巻682号以降

定期購読  
期間中

### デジタル版バックナンバー読み放題!!



世界経済評論 定期購読



☎0120-223-223

[24時間・年中無休]

お支払い方法

Webでお申込みの場合はクレジットカード・銀行振込・コンビニ払いからお選びいただけます。  
お電話でお申込みの場合は銀行振込・コンビニ払いのみとなります。

Fujisan.co.jp  
雑誌のオンライン書店

## 地球経済入門 ：人新世時代の世界をとらえる

立命館大学名誉教授 関下 稔



[編者]

妹尾裕彦 (せお やすひこ)

千葉大学教育学部准教授

田中綾一 (たなか りょういち)

駒澤大学経済学部教授

田島陽一 (たじま よういち)

東京外国語大学大学院教授

[発行] 法律文化社, 2021年3月

[判型] A5判, 228ページ

[定価] 本体2,400円+税

本書は中堅研究者による意欲的な現代世界経済論のテキストである。現代の世界経済を一つの統一性あるテキストにコンパクトにまとめるのは至難の業だが、本書の執筆陣はよくこの難事に果敢に挑戦している。

本書の特徴は、まず第1に地球経済という、より包括的な視点から世界経済を概観していることである。グローバル世界の出現によって世界は一つに結ばれ、国家間の対抗と協調の時代を迎えているが、そのことをグローバル経済と

いう枠組みに留めることをよしとせず、さらに地球全体の運命(プラネタリー・バウンダリー)と一体化するという意欲を示している。当然に環境(生態系)、エネルギー、食糧、人権などをめぐる問題はより包括的かつ共通問題として立ち現れることになる。

第2にその基底にある国を越えたヒト、モノ、カネ、情報サービスの移動を説明するもので、伝統的に世界経済論が必ず取り上げてきたテーマでもある。ここでは貿易を比較生産費と貿易体制に絞ってみている。そして多国籍企業という新たな主体の参入がそれを修正させている点に注意を向けている。次にマネーの移動と決済を国際収支、外国為替、国際通貨に焦点を当てて丁寧に説明する。手堅い手法と論述である。

第3に国家で括られた経済の特徴をアメリカ、中国、EU、そして途上国に分けて論述している。ここではそれぞれの国の経済の特徴と問題点が端的に要約されているが、とりわけアメリカと中国という現代の双頭を対照的に描き、その問題点を浮き彫りにしようとしている。

さてこれを講義用テキストとして使うと11回分ということになる。15回を予定した場合には、若干の補充が必要となろう。どんなものが考えられるだろうか。なかでも移民、知財、税、軍事、そして日本経済は不可欠に思われる。本テキストを実際に利用して普及に努め、意見を取り込んでさらにそのグレードアップを目指すなら、新たな書き手を加えて、これらの不足分の補充に是非とも注力して欲しい。さらに深い内容と平易な叙述に心掛け、全体の統一性がさらに強まれば、確かなメッセージの発信としてより一層生命力を増すことになろう。

(せきした みのる)